

平成15年度 和歌山県文化功労賞

みや 村 やす ひこ
宮 村 泰 彦

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県那賀郡桃山町

生 年：大正13年

◎業績及び経歴

氏は、大正13年に那賀郡桃山町に生まれ、昭和25年に東京美術学校(現 東京芸術大学)油画科を卒業する。昭和31年より25年間和歌山県立和歌山ろう学校美術科教諭、その間2ヶ年和歌山県立和歌山北高等学校美術科講師を兼務する。

戦後の新しい美術の動向に影響を受け、昭和30年関西青年作家グループ結成に参加し、和歌山でもA55集団を結成、京阪神の各グループと交流をしながら、グループ連合展等に出品する。

昭和32年新構造社第29回展で会友推薦、昭和33年第30回展で会員推薦を受けるが、昭和40年頃から人物画を主体として個展を中心に作品を発表する。

また昭和43年より「紀ノ川」を描くことをライフワークとして、源流大台ヶ原より吉野川を経て、紀ノ川河口までを写生して歩く。

氏の作品は、人と自然をテーマに、和歌山を積極的に描き、特に画文集「紀ノ川」(昭和62年刊行)、「根来街道」(平成9年刊行)、「紀ノ川スケッチ紀行」(平成11年刊行)等は、自然とそこに生きる人々を追求する独自の姿勢が伺える。

53年の永きにわたり、油絵の伝承に尽力されるとともに、絵画を通じて紀ノ川沿いの町おこしに貢献されている。

また、長年にわたり、和歌山県美術展覧会等の審査員を務めるなど本県の絵画文化の振興に大きく寄与した功績は多大である。

■現在

日本美術家連盟会員

和歌山県美術家協会理事

和歌山県美術展覧会審査委員

■主な表彰歴等

平成11年 和歌山市文化功労賞

平成13年 桃山町ふるさと文化賞